

『不妊・不育と  
こころの相談室』  
における相談の現状

# ホームページ

不妊・不育とこころの相談室へようこそ

Since 2004



2005年7月9日(土)

不妊・不育とこころの講演会

岡山大学医学部図書館3階

プログラム・詳細はこちら 案内図

**NEW**

2005年7月より 参考図書・各種資料の閲覧・一部貸し出し開始

詳細は電話かメールでお問い合わせ下さい。

岡山県不妊相談センター

不妊・不育とこころの相談室

🍀 おかげさまで1周年

不妊（妊娠しない）・不育（妊娠はしても子供が育たない）将来の妊娠が不安、思春期の種々の問題の相談などご夫婦でも、恋人同士でも、お一人でも、お子様づれでもお気軽にお越しください。

相談料は無料です

**NEW**

相談室パンフレット | 2005年版(pdf)



不妊・不育の部屋



思春期の部屋



子宮内膜症の部屋



相談室の紹介



こちらは、相談室のホームページです。  
Yahooなどの検索サイトからもhitしま  
すし、病院や県庁の保健福祉部、健康  
対策課のホームページからもアクセス  
することができます。

HPでは、最新のトピックスを掲載したり、  
Web上から相談室へメールが送れるよ  
うになっています。





その他、このようなパンフレットと配布して、  
相談室を知ってもらうよう努めています。

# 名刺サイズカード

岡山県不妊専門相談センター  
「不妊、不育ところの相談室」  
**相談料は無料!**  
生殖コーディネーター・カウンセラー・医師がお聞きします。  
(女性スタッフもいます。)

来所・電話:毎週水・金曜日の午後1時~午後5時まで  
FAX、E-mail:24時間受け付けております。

**TEL・FAX:086-235-6542**  
場所:岡山大学医学部・歯学部附属病院内

E-mail:funin@cc.okayama-u.ac.jp (携帯からでもOK)  
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/funin/index1.html>

岡山県不妊専門相談センター  
「不妊、不育ところの相談室」  
思春期相談・摂食障害  
性同一性障害・性感染症・もしかして妊娠!?

**相談料は無料です!**  
カウンセラー・医師がお聞きします。(女性スタッフもいます。)  
E-mail:funin@cc.okayama-u.ac.jp (携帯からでもOK)

**TEL・FAX:086-235-6542**  
場所:岡山大学医学部・歯学部附属病院内  
E-mail・FAX:24時間受け付けています。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/funin/index1.html>  
来所・電話での相談もOK(水・金曜日PM1:00~5:00)



名刺サイズのカードも作製・配布しています。

# 相談室内





相談室内の写真です。

プライバシーを保つよう個室で対応しています。

# 相談室内





中では、ビデオ・DVDによる説明や  
専門書籍・インターネットによる情報提  
供などができるようになっています。



現在までの  
「不妊・不育とこころの相談室」  
の活動



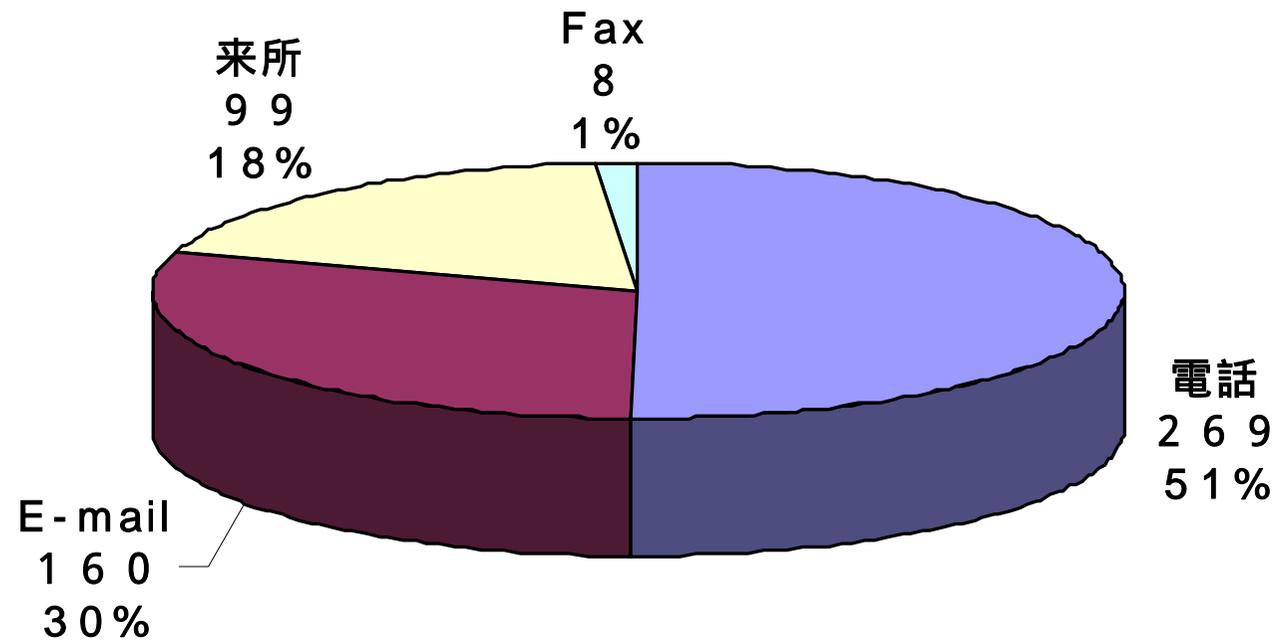
次に、開設から1年間にあった相談の内容を解析して不妊相談の現状と問題点につき、検討致しました。

# 相談室の現状 1

2004年5月7日 ~ 2005年4月30日まで

## 相談方法別件数

総件数 536件





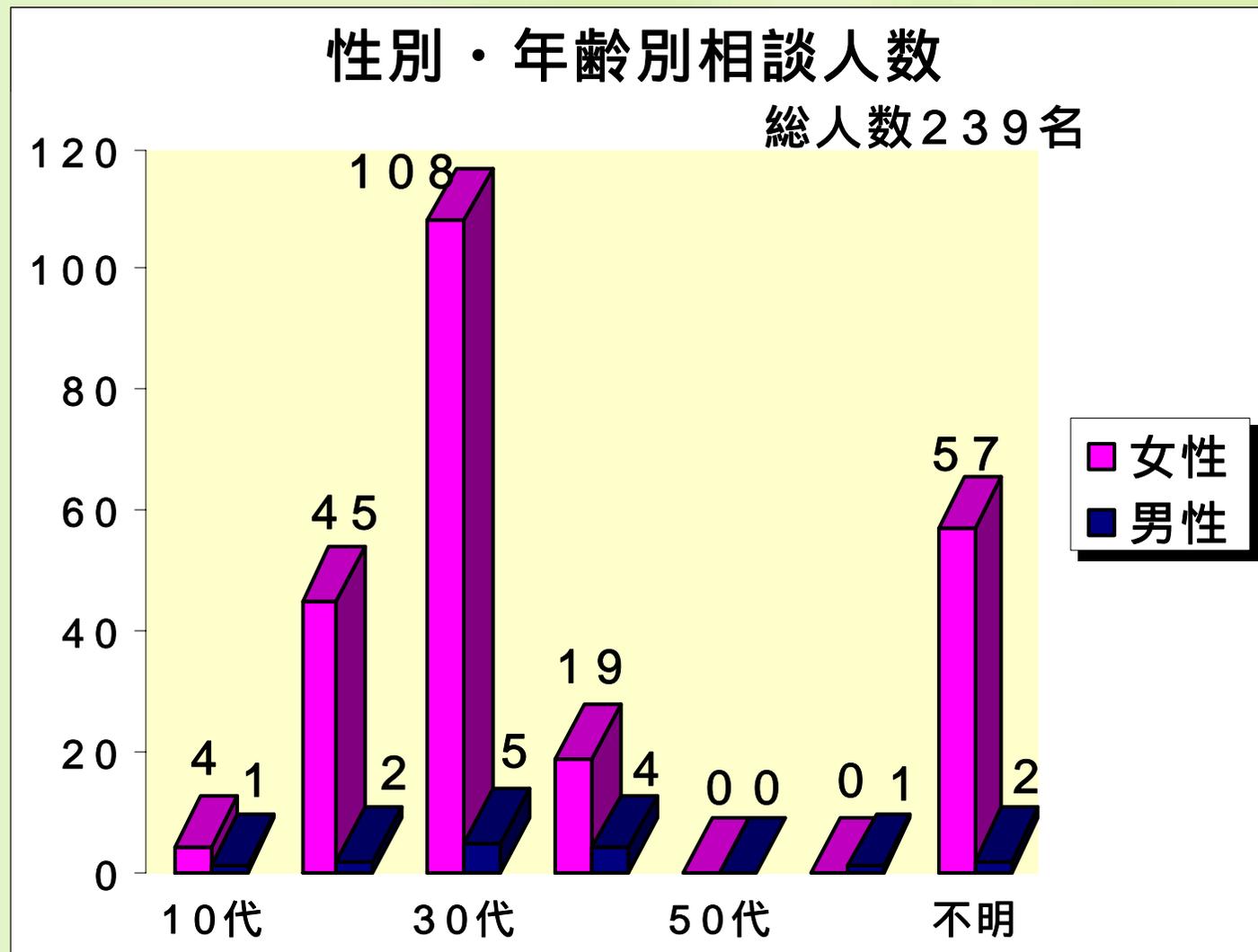
1年間の集計では、相談件数は 536件でした。  
総件数536件のうち、電話とE-mail合わせて、約  
80%と大多数を占めていました。

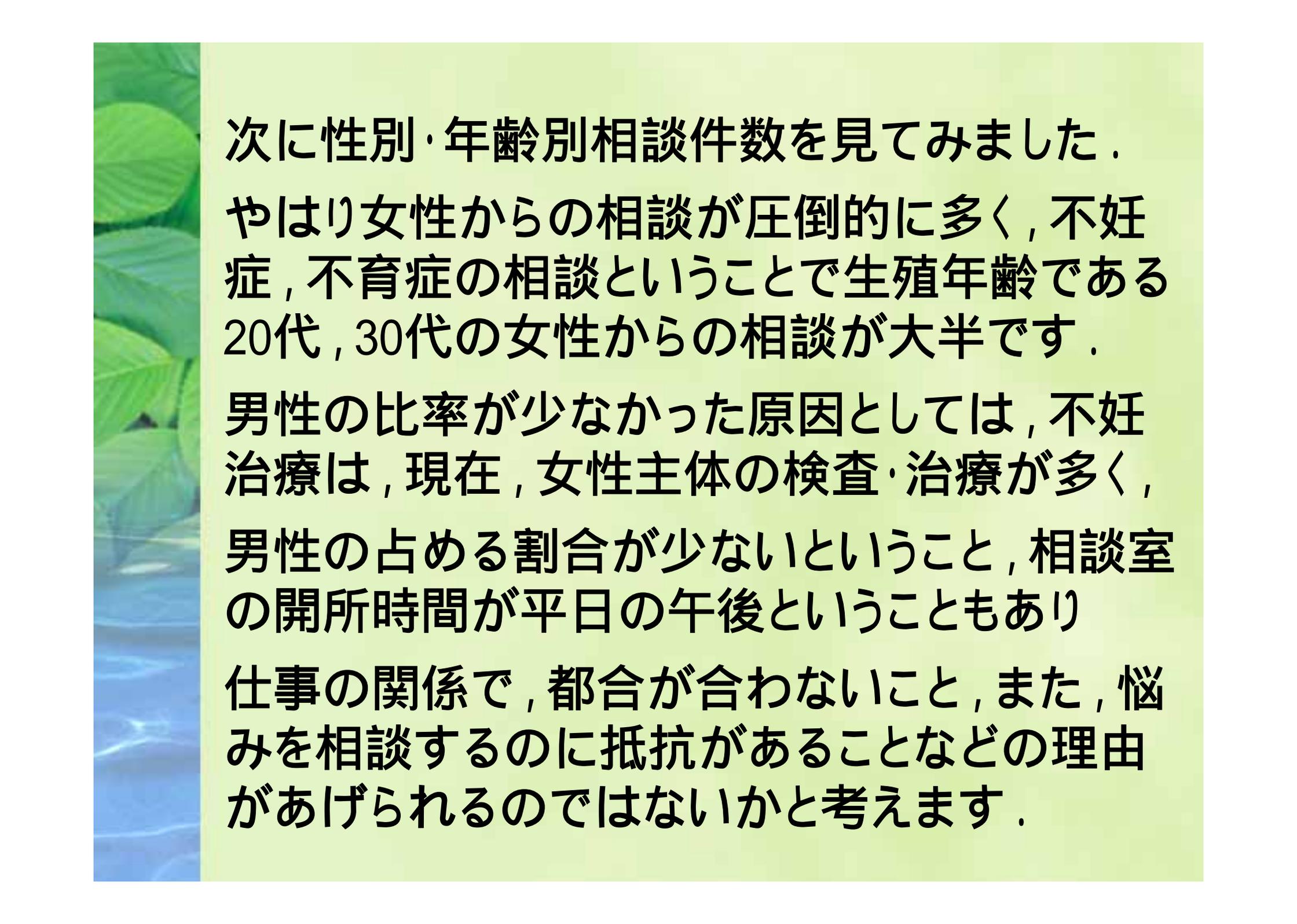
電話での相談は、スタッフと対面せずに相談でき、すぐに回答が得られ、簡便な点がE-mailでの相談は、開所時間に関係なく送信でき、色々な悩みや現在までの経過をまとめて書くことができることがメリットであると思われれます。

来所による相談も、99件と多かったのですが、男性や仕事を持っている女性には都合が合いにくいいためか比率としては低くなっています。

# 相談室の現状 2

2004年5月7日～2005年4月30日まで





次に性別・年齢別相談件数を見てみました。  
やはり女性からの相談が圧倒的に多く、不妊症、不育症の相談ということで生殖年齢である20代、30代の女性からの相談が大半です。

男性の比率が少なかった原因としては、不妊治療は、現在、女性主体の検査・治療が多く、男性の占める割合が少ないということ、相談室の開所時間が平日の午後ということもあり

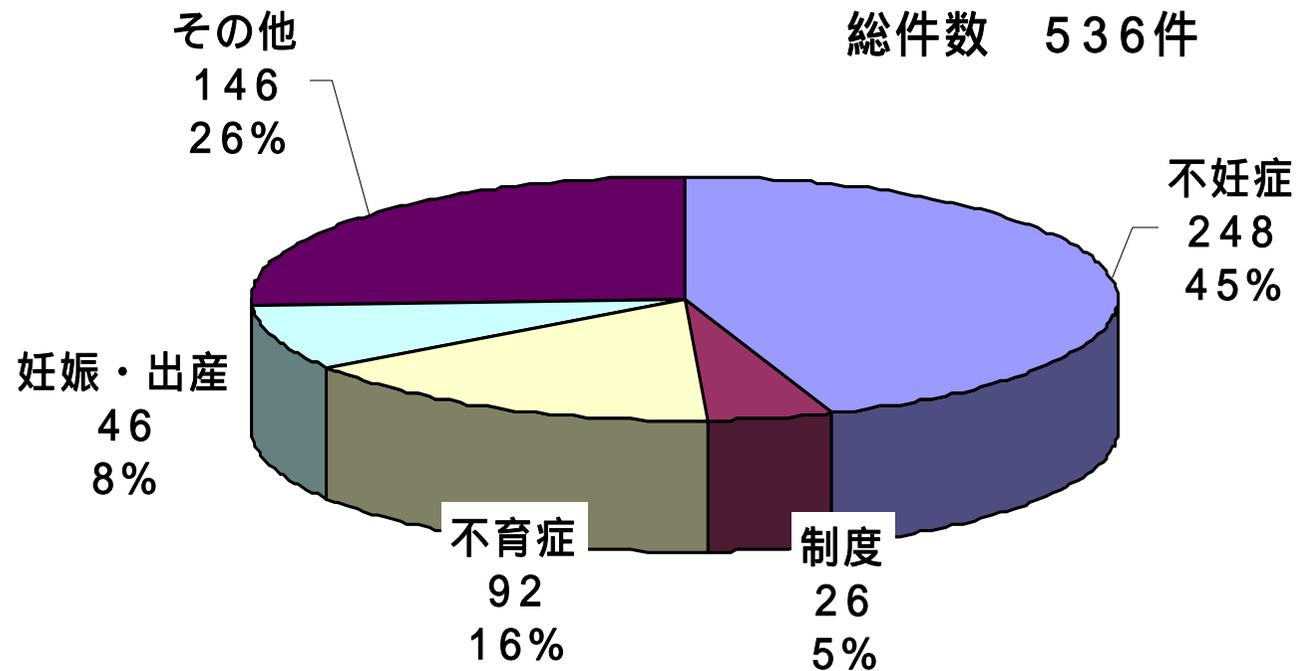
仕事の関係で、都合が合わないこと、また、悩みを相談するのに抵抗があることなどの理由があげられるのではないかと考えます。

# 相談室の現状 3

2004年5月7日 ~ 2005年4月30日まで

## 内容別相談件数

総件数 536件



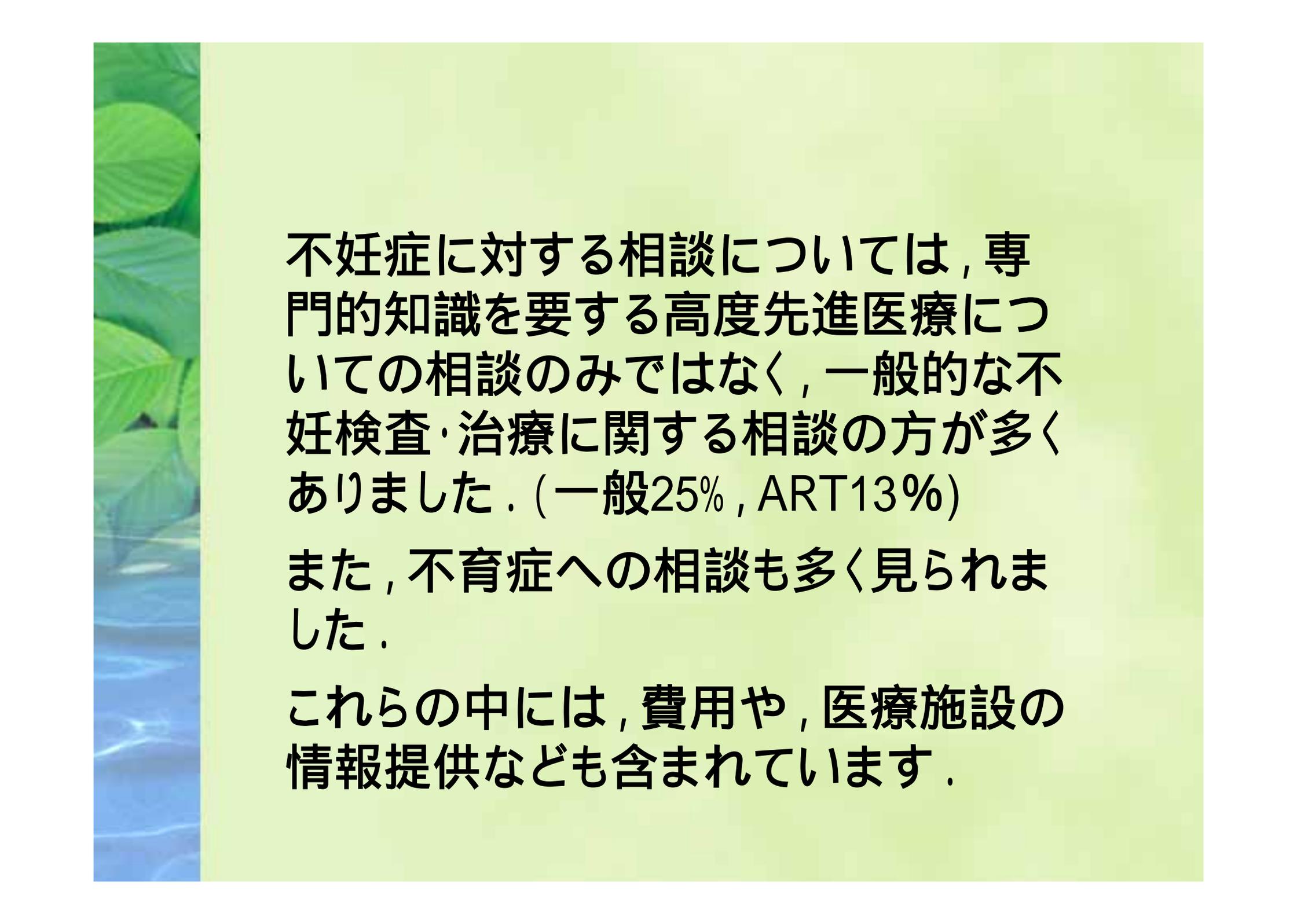


次は相談内容についてです。

やはり不妊症と、不妊治療支援事業  
に対する相談が、約半数を占め、次い  
で、不育症について16%、妊娠出産に  
ついて8%となっています。

# 相談内容 1

- ✿ **一般不妊症検査・治療について**  
BBT・血液検査・超音波検査・HSG  
粘液検査・精液検査・腹腔鏡検査  
タイミング・AIH・腹腔鏡手術・・・
- ✿ **高度生殖医療技術について**  
IVF-ET・ICSI・胚盤胞移植・凍結  
AID・TESE・・・
- ✿ **不育症検査・治療について**  
血液検査・子宮鏡検査・・・  
抗凝固療法・リンパ球療法・・・



不妊症に対する相談については、専門的知識を要する高度先進医療についての相談のみではなく、一般的な不妊検査・治療に関する相談の方が多いありました。(一般25%, ART13%)

また、不育症への相談も多く見られました。

これらの中には、費用や、医療施設の情報提供なども含まれています。

## 相談内容 2

### ❁ 不妊治療支援事業助成金について

岡山市・倉敷市・真庭市

新見市・井原市・吉備中央町・新庄村

その他の岡山県内

### ❁ 合併症・遺伝疾患について

肝血管腫・肺移植後・Ⅱ型糖尿病・ホジキン病

アレルギー性紫斑病・家族性聴覚障害

先天性副腎皮質過形成

摂食障害・適応障害・うつ病・自閉症

クラインフェルター症候群・ポッター症候群

アスペルガー症候群・アルポート症候群・・・



行政に関連する相談としては、岡山県では2004年の9月から助成金給付が開始されたのですが、申請方法や資格が、岡山県内でも在住する市町村により異なりますので、手続きに関する情報提供も行っています。

また、最初のグラフで、妊娠・出産の相談が8%ほどを占めていたように、相談者本人、家族、配偶者、前児などに種々の疾患があり、将来の妊娠、次回の妊娠への不安のため、相談して来られるケースが多く見られました。

スライドに相談例の一部を示しております。

これらの相談には、各科の専門の医師と連携して、回答しています。

## 相談内容 3

### ✿ 思春期の問題について

思春期やせ症（新形成食指不振症）

性感染症，避妊法

性別違和感（性同一性障害）・・・

### ✿ その他，

夫婦間，医師患者間，嫁姑間などの人間  
関係や，種々の社会的・経済的問題も絡ん  
だ相談など



将来の不妊症などにつながることを考え、思春期の問題についても相談を行っており、種々の相談が寄せられました。

また、夫婦間、医師患者間、嫁姑間などの人間関係や、種々の社会的・経済的問題も絡んだ相談などにも対応しました。